

奥羽大学報



ツツジに彩られた記念講堂

目次

平成 27 年度入学式	2
歯学部新入生オリエンテーション／ 奥羽大学生の新たな旅立ち オリエンテーションキャンプ開催／ 薬学部フレッシュマンウィーク	3
薬学部入学前教育／薬学部 1 年生早期臨床体験／ 歯学部の新科目「エレクトィブスタディ」／薬学部 FD 研修会	4
歯学部父兄会・保護者懇談会／ライフサポート部の救護ボランティア／ 薬学部父兄会・保護者懇談会／薬学部キャリアガイダンス	5
大学院歯学研究科入学式／大学院歯学研究科オリエンテーション／ 科研費採択状況	6
平成 27 年度奥羽大学高大連携講座	7
附属病院／図書館で本の歴史展	8
無垢サロン／自著を語る	9
赤川学長、日本補綴歯科学会特別功労賞を受賞／歯学部研究紹介	10
薬学部研究紹介／国際口腔外科専門医 (FIBCSOMS) 取得報告	11
スポット学友会／奥羽大 now	12
平成 27 年度進学相談会日程	13
同窓会だより／同窓生のひろば	14
新任教授紹介	15
人事	16
文学部関連の記事募集のお知らせ	17
オープンキャンパス日程	18

平成27年度入学式

平成27年度入学式が4月4日(土)午前10時より記念講堂にて挙行された。新入生150名(歯学部64名、薬学部86名)および編入生13名(歯学部10名、薬学部3名)の全員が呼名され、入学した。式では、赤川安正学長より新入生たちへの期待に満ちた告辞があった。これに対し、入学生を代表し、歯学部 根本ひろの君、薬学部 阿部咲織君が、「ひたむきに努力する」と、清々しく宣誓した。続いて、小林克男理事より歯学部 田岡健行君、小山賢君に対して影山晴川育英奨学金の授与があった。また、両学部長より歯学部28名、薬学部16名の特待生に対して証の授与があった。

最後に教員紹介が行われ、厳粛な雰囲気の中に新年度が始まった。



告 辞

学長 赤川 安 正

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。また、新入生のご両親、ご家族ご親族の皆様には今日の日を大きな喜びをもってお迎えのことと存じ、心よりお祝いを申し上げる次第です。

本日、ここに、ご来賓、ご両親、ご家族、ご親族の方々のご臨席を賜り、奥羽大学 歯学部および薬学部の新入生を迎え、平成27年度の入学式を挙行できますことは、本学教職員全員の最も大きな喜びとするところであります。と同時に、新入生の皆さんは、入学した喜びと自らの希望と夢の実現に向けて、気力に満ちあふれていることと思います。奥羽大学は皆さんを心より歓迎いたします。

本学は「人間性豊かな歯科医師を育成する」ことを建学の精神に掲げ、1972年、東北・北海道地域における唯一の歯科大学として創設されました。

2005年には、高齢社会における老人保健医療福祉の向上を担う「人間性豊かな薬剤師を育成する」ため、歯学部との連携のもと、福島県唯一の薬学部を創設いたしました。以来、今日まで、歯学部では4057名の卒業生を、薬学部では542名の卒業生を、それぞれ世に輩出してまいりました。では、なぜ、建学の精神・理念が「人間性豊か」なのでしょう。そこには、本学の創立者 影山四郎先生・初代理事長の強い思いが込められています。現在、安倍総理肝入りの教育再生会議で議論されている「若者が持つべき力」、すなわち「すべての若者が夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせるために、教育により育む力」は何かとして、「豊かな人間性」、「健康・体力」、「確かな学力」の三つを挙げ、その総合力としての「生きる力」が必要だとしています。この「生きる力」の一番目が「豊かな人間性」なのです。本学はすでに40年以上前の創立時から、先見性を持って「人間性豊かな」力を育てています。

現在、我が国は世界に類をみない速度で超高齢化が進んでおり、この課題の解決を先進国は固唾をのんで見守っています。このような中であって、国民の最大の関心事は、単なる長生きではなく、健康で自立して長生きをする「健康長寿」であります。このことに大きな貢献ができるのが、歯科医師であり、薬剤師なのです。すなわち、国民の一人ひとりが、元気な時はもちろんのことですが、要支援や要介護の状態になっても、「口から食べる生きる喜び」を与えることこそが歯科医師の最大の仕事であります。一方、薬剤師の最も大きな仕事は、様々な病気に苦しむ患者さんに寄り添って、最も適切な薬物療法を提示し、責任をもってそれを実施することにより「自立して生きる喜び」を与えることでもあります。

このように、社会や国民が望んでいる歯科医師・薬剤師になってもらうべく、本学は先進的教育環境を整え、また新入生の新しい特待生制度を作り、さらに、新しい教育イノベーションプログラムを立案し、このプログラムを在学生全員に学習させるべく、教職員は全員一丸となって、皆さんを教育いたします。

新入生の皆さんには、三つのことを強く求めます。一つは、「ひたむきに努力をする」ことです。自分の夢である「良い歯科医師になる」「良い薬剤師になる」ことを必ず実現するのだとの強い意志を持ち、それに向かって、自らがひたむきに、できる限りの努力をして下さい。二つ目は、「バランス感覚」です。

卓越した常識と、事を処する思考上の平衡感覚、いわゆるバランス感覚を身に付けようと、常に心掛けてください。このバランス感覚は、社会人として人間関係を円滑に導き、所属する組織で指導力を発揮出来る人間になるための必須の条件です。三つ目は「礼儀正しさ」です。「礼儀正しさ」とは人間関係における他者への尊敬であり、豊かな人間性がとるべきひとつの姿、「思いやりの心」の表れです。これを持たない人は決して良い医療人にはなれません。「ひたむきな努力」、「バランス感覚」、「礼儀正しさ」、これら三つを一生懸命に得ようとする皆さんを、私たちは6年間しっかりと支えたと、お約束をいたします。

一方で、大学での生活は勉強だけではありません。かけがえのない一生の友を作る絶好の機会です。この自然豊かな環境と美しいキャンパスの中で、クラブ活動、サークル活動、同級生・先輩・後輩や教員との交流などを通じて、すばらしい友を是非とも沢山作ってほしいと強く願っています。

新入生の皆さんの中には、両親のもとを離れて初めて一人暮らしをする人も沢山いると思います。どうか、自分の体調と安全にはしっかりと気を配ってください。医療人になろうとするもの、まず第一に、自分の心と体の健康管理、安全管理ができないといけません。

さあ、今日から、待ちに待った6年間の学生生活が始まります。自ら主体的に人間性を磨き、専門の知識や技術をしっかりと学ぶべく、できる限りの努力をする、その結果として、時代が求めている仕事ができ、かつ人の心の痛みがよくわかる、心優しい歯科医師・薬剤師になってくれることを大いに期待いたします。しっかり頑張ってください。

これをもって、学長の告辞とします。

歯学部新入生オリエンテーション

4月4日(土)入学式終了後、午後1時から第3講義棟332教室で、馬場麻人学年主任からクラス担任が紹介され、学生相談については車田文雄、鈴木敏城両カウンセラーから説明があった。

引き続き、授業概要並びに学生生活について学生部長から詳細な説明がなされ、質疑応答後に無事終了した。

奥羽大学生の新たな旅立ち オリエンテーションキャンプ開催

4月4日(土)の入学式の興奮もまだ覚めやらぬ4月6日(月)より、1泊2日の旅程で一年生のオリエンテーションキャンプが実施された(新入生150名、教職員17名)。

今回は、初めての試みとして、歯学部と薬学部の新入生と一緒に参加した。これは、医療系大学で進められているinterprofessional education(専門職連携教育)への足がかりとするものだ。

初日午前中は学内で、自然災害、薬剤師の活動、歯科医療支援活動について、3名の講師の先生から講義を受けた。その後、猪苗代町に移動し、磐梯山噴火記念館を見学後、宿舎のヴィラ・イナワシロに入った。学部別ミーティングの後、学生間の親睦を図るために「100人と友達になろう」という催しが行われ、続いて歯薬学生をミックスした班によるゲーム大会が開かれ、大いに盛り上がった。翌日の午前中は、前夜と同じ班別に、「大学生活で大切なこと」をテーマにグループディスカッションを行い、その成果を発表した。

この2日間で学生諸君は学部の枠を超えた友人も増えたようだ。本キャンプが、両学部生間の連帯感が生まれるきっかけになることが期待される。



薬学部フレッシュマンウィーク

新入生は、入学式後の4日間、種々の行事により、親睦を深め、豊かな人間性を涵養するべく本学での教育の一步を踏み出した。前半の2日間は上記のオリエンテーションキャンプ、後半の2日間は一部歯学部と薬学部が合同で実施した。危険ドラッグ、煙草、悪質商法など身近に迫ってくる可能性のある社会問題の話の聴いたり、学内見学ツアー、教員との顔合わせ

会、実力試験等々が行われた。入学前教育と合わせた2週間で、1年生の団結力も強まり、幸先の良いスタートを切った。



学内見学ツアー

薬学部入学前教育

3月30日(月)から4月3日(金)までの入学式直前の1週間、入学予定者のほぼ全員が一足早く本学の講義・実習を受けた。有機化学、生化学、薬理学、ノートの取り方などの国語の授業、研究紹介、討論会、有機化学実験、緑色蛍光タンパク質の形質転換実験等々、充実した1週間を過ごした。受講生からは、「大学での勉強の不安が解消された」「実験がたくさんできて楽しかった」「一足早く友人ができた」等々の声が聞かれ、高度な専門知識と技術を学習すべく土台作りができた。



薬学部1年生早期臨床体験

薬学部新入生86名が、5月16日(土)、26日(火)、6月2日(火)の3日間にわたり、早期臨床体験として、5つの病院(太田西ノ内病院、竹田綜合病院、坪井病院、総合南東北病院、星綜合病院)と、郡山市内の薬局22店舗を見学した。

学生の見学時のまなざしは大変鋭く、初めて見る大規模病院の真の姿に驚きを隠せなかったようだ。また薬局では、薬剤師の仕事を目の当たりにし、個々

の学生には将来の目標となる薬剤師像が結ばれたようだ。



星綜合病院見学(5/26)

歯学部の新科目「エレクトィブスタディ」

本年度、歯学部のカリキュラムを一部改正した。その中で学生が主体的に学ぶことができる特徴的な科目が「エレクトィブスタディ(ES)」である。学年間の枠を超え、学生が興味や関心を持った研究分野を選択し、自らテーマを見つけて自己研鑽しようというものだ。このESは思いきり自分の好きなことを好きなだけ追及し、研鑽するためのカリキュラムである。

主体性のある学びは、やがて高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師に成長し、社会に貢献することに繋っていくことと期待される。

薬学部FD研修会

4月22日(水)、本年度第1回目のFD研修会が「教員の教育力向上を目指して-成績中位者の学士力向上のために教員ができることは何か-」と題して開催された。全体会議の後、グループ討論により作成したプロダクトの報告と討論が行われた。

この中で、年間を通じた学習計画の重要性が浮き彫りとなり、教員による学士力向上のための取り組みとして、特に夏休み前後を含めた年間学習計画の指導、週単位での学習の進捗状況の把握による学習指導が提案された。今後、学士力向上委員会により具体的な検討がなされる予定である。



平成27年度奥羽大学高大連携講座

奥羽大学では、平成20年度より「高大連携講座」を実施しており、今年で8年目を迎えます。平成27年度の講座については、高校の授業と大学の講義の関係性を明示し、内容は実際の大学の講義に近いものにリニューアルしました。また、講義形式に加え、実験を伴う講座も設け、問題発見・解決能力の向上に努めます。

講座を実施する際には、高校の先生方と本学教員が、連携を深めるべく入念な打ち合わせを行って詳細を決定いたします。高校生がより速い段階で大学の教育研究に触れることで、さらなる学習意欲の向上に繋がるよう取り組みます。

■歯学部

講 師		講座名
赤川安正	学長・教授	白歯喪失はアルツハイマー病の病態に影響を及ぼすか?
山森徹雄	教授	義歯(入れ歯)の目的と装着までの過程
川原一郎	講師	口腔外科学 - 歯科と医科の連携
板橋 仁	講師	歯科矯正学 - 歯の移動と顎顔面の成長発育-
竜 立雄	講師	正しい歯並びと顎と歯の矯正歯科治療を理解しよう
渡邊弘樹	教授	ミクロからみた人体
安部仁晴	准教授	活性酸素の発生原因と生物学的効果
花岡洋一	教授	法歯学
清浦有祐	教授	免疫システムの分子基盤
伊東博司	教授	歯の病気はどのようなものなのか、どのようにして起こるのか
玉井利代子	准教授	病原微生物の菌体成分に対する免疫応答
鈴木礼子	准教授	骨粗鬆症と歯科医師
古山 昭	助教	痛覚の比較分子生物学
前田豊信	准教授	遺伝子転写からタンパク質翻訳まで - 生物工学的手法を中心に-
岡田英俊	教授	歯科材料と歯質の接着
廣瀬公治	教授	免疫学から見た歯周病と糖尿病との関係
瀬川 洋	教授	予防歯科の最前線 - 最新の唾液検査からわかること-

■薬学部

講 師		講座名
衛藤雅昭	学部長・教授	糖尿病治療薬の薬理作用
竹元万壽美	教授	グリーンケミストリーと医薬品製造
山岸文洋	准教授	クスリと有機化学について
伊藤徳家	准教授	冠位十二階のトップカラーはクスリだった
柏木良友	教授	機能性高分子を用いた薬物送達システムの構築
上野明道	教授	がん遺伝子、がん抑制遺伝子の発見から環境中や食品中の発がん化学物質まで
大島光宏	教授	理化学研究所FANTOMプロジェクトで明らかになってきたこと
押尾 茂	教授	現代の環境問題を探る
小谷政晴	教授	神経幹細胞と脳の再生
堀江 均	教授	感染症と薬
山下俊之	教授	アレルギー発症のメカニズム
山本正雅	教授	血小板の役割
西屋 禎	教授	薬の作用点
佐藤栄作	教授	薬の作用機序 - 高血圧症治療薬-
八巻史子	講師	自律神経のバランスを整える生理活性物質とその調節機構について
関健二郎	講師	うつ病発症の脳内機序を知り、偏見の無い社会作りを目指しませんか?
中村郁子	教授	薬物相互作用とは?
伊藤 鍛	准教授	毒は薬、薬は毒? - 毒と薬の関係について考える-
多根井重晴	准教授	裁判事例から考える真の医療提供サービスとは
和田重雄	准教授	GFPの緑色光が科学の心に火を灯す - 研究能力を高めるバイオテクノロジー実験-

附属病院

登院式

新しく歯学部第5学年となり、臨床実習を開始する31名の登院式は、4月1日(水)午後2時30分から附属病院臨床講義室で挙行された。

杉田俊博附属病院長から病院の理念・基本方針、臨床実習での心構えの訓示が行われた後、院内生を代表して東健一郎君が充実した臨床実習にすることを宣誓した。



陸上自衛隊から感謝状贈呈

4月12日(日)、郡山駐屯地創立62周年記念式典に際して、陸上自衛隊から本学歯学部へ感謝状が贈呈された。

長年にわたり駐屯地医務室に歯科医師を派遣して隊員の歯科疾病改善予防に尽力し、自衛隊任務達成に貢献したことによるもので、福森秀樹郡山駐屯地司令から大野敬歯学部長が感謝状を受け取った。



歯科医師臨床研修開始式

平成27年度歯科医師臨床研修開始式が4月1日(水)に挙行された。

単独型研修プログラムAを選択した17名、地域医療短期プログラムBを選択した12名、地域医療長期プログラムCを選択した3名の計32名が研修開始を許可された。

研修歯科医は附属病院または協力型研修施設にて、将来専門とする分野にかかわらず歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療に対応出来る歯科医師となるべく生涯研修の第一歩を踏み出した。



図書館で本の歴史展

4月13日(月)から5月30日(土)まで、図書館1階閲覧室で「本の歴史～写真と本に見る」ミニ展が開かれた。

日常的に使われている「図書」というメディアを、古代から現代までを写真でたどり、デジタル系の本も登場している今日の「図書」の持つ意味を改めて考える機会にしようというのがねらい。古代のパピルス本、羊皮紙の聖書、修道院での写本作り、鎖つき本、江戸時代の整版本、さらに今日の活字本などのパネル写真が関連図書とともに示された。





図書館の紙つぶて

図書館長 安藤 勝

- ・「情報を紡ぎ、未来の文化を作る」。これがインターネット時代に問われる図書館の役割だと、菅谷明子さんは語る（『未来をつくる図書館』）。ニューヨーク公共図書館の活動報告はまさに目からうろこだ。
- ・図書館は図書や雑誌などを蓄積し、次の時代へ引き渡していくという役割がある。それらの情報を必要とする人に提供する、という使命もある。百も承知している理念論ではあるが、何事も絵に描いたようにはいかない。
- ・本離れと言われて久しい。なぜ本が読まれなくなってきたのか。この世からすべての紙が燃えつきってしまったら、というレイ・ブラッドベリのSF小説『華氏451度』。このときはじめて本の存在に気が付くかしら。白昼夢。
- ・本はいつでも読める、と思っていると、いつでも読めない（だろう）。読書は習慣が大切だ。とくに若い人は。ケイタイよりも。
- ・司馬遼太郎という作家は、一つの小説を書くのに、車いっぱいになるほどの本を買ったという。この執念、恐るべし。別な本にはこも書いてあった。「自分にとって学校というものは一切存在理由がなかった。図書館と古本屋さえあったら、それで十分であった」。司馬さんだからこそ言えた言葉だ。永井荷風も同じようなことを言っていた。何の本に書かれてあったかは覚えていない。やっぱりメモしておけばよかった。ちなみに「荷風」つてだれ？読み方は？
- ・知恵の宝はおもに書物のうちに収められている。最近ネット？ 図書館とは利用者にとって「知識の獲得」と「知識の再生産」をするところ。だから図書館は怖いところでもある。
- ・「本を読む」とは呼吸するのと同じくらいらしい。生半可な読書通はこう言う。え？ワタシ呼吸できないわ、と勘違いする人がいる。まさか。
- ・論文は誰かに引用されて一人前という見方がある。計量文献学という分野はまさにそれだ。ユージン・ガーフィールドが提唱したインパクト・ファクターの原型だ。
- ・読んだ本は忘れる。だからせつせとノートに記したり、再読する。「忘れる」ということを忘れたくない。
- ・書物は保存している間は必要にならない。しかし、捨てた翌日必要になる。何とかの法則だそうだ。
- ・図書館に来ると、自分の知的貧しさに愕然とすることがある。

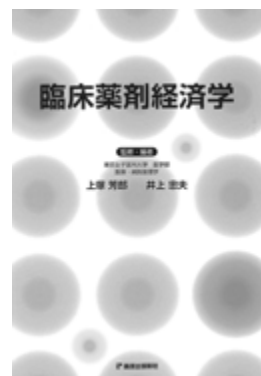
自著を語る

「臨床薬剤経済学」

井上忠夫著 篠原出版新社 2013

本書は薬剤経済学の方法や原理を解説した入門書である。薬剤経済学をどのように臨床の現場に導入するか、その戦略方法をこの本が解説してくれる。以前は、薬剤経済に関する原理や方法、理論を実際の臨床業務にどのように応用できるかについてはほとんど関心が払われていなかった。薬剤経済学の主な適応は、薬剤経済学の原理や方法、理論を臨床の現場に適用し、薬剤の真の価値（有効性、安全性、経済性）を定量化することにある。特に薬剤の決定に重要な役割を果たしている医師、歯科医師、薬剤師が、目の前の患者に最善の薬物治療を提供するために臨床的エビデンスと経済的エビデンスを統合した治療選択をどのように行うか、そのための解説書でもある。

(薬学部薬理学分野 教授 井上忠夫)



赤川学長、日本補綴歯科学会特別功労賞を受賞

赤川安正学長は5月29日、埼玉県大宮市で開催された公益社団法人日本補綴歯科学会から学会特別功労賞を受賞した。

赤川学長は、長年の日本補綴歯科学会への貢献に加えて、社団法人化した当学会の第2代理事長を務めた時、「より社会に向き合う学会になる」「より世界を見据えた学会になる」ことをゴールに掲げ、補綴歯科専門医制度の創設、英文雑誌の年4回化、根拠に基づく臨床ガイドラインの作成、「補綴」の社会への周知、各支部大会における市民フォーラムと臨床医（非会員）向け生涯学習公開セミナーの義務化、中国やインドの補綴歯科学会との学術交流協定の締結などを行ったことが評価された。



赤川学長と矢谷理事長(右)

歯学部研究紹介

Fibroblast growth factor (FGF) による象牙質形成制御の検討

口腔機能分子生物学講座 教授 馬場麻人

Fibroblast growth factor (FGF) は、1970年代初頭に線維芽細胞増殖因子として下垂体で発見された(1)。現在では様々な組織において受容体 (FGFR) を介して、形成細胞の増殖・分化に働くことが明らかになっており、リガンドである FGF は FGF1 から FGF23 までが、また受容体は FGFR1 から FGFR4 までが同定されている。そしてこのような FGF ファミリーの中で FGF18 は、骨形成細胞に対しては受容体 FGFR2 を介して細胞の増殖・分化を促進し、軟骨形成細胞に対しては受容体 FGFR3 を介して増殖・分化を抑制することが明らかにされている(2)。

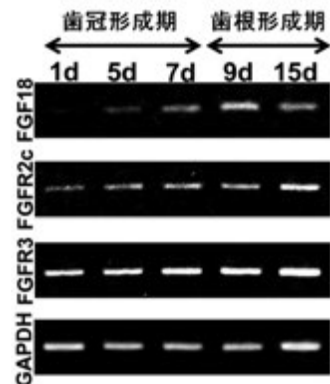
さて我々がこのような FGF18 の遺伝子発現を、ラット下顎臼歯において歯冠形成期から歯根形成期までの間、検索したところ、RT-PCR による組織内の発現量は歯冠形成期 (生後1、5日) に比較し、歯根形成期 (生後9、15日) で有意に上昇していた(3、図)。この発現は基質形成中の象牙芽細胞によることが in situ RT-PCR により確認された。一方、受容体の候補である FGFR2 および FGFR3 の遺伝子発現は歯冠から歯根形成期の象牙芽細胞に継続的に観察された(3、図)。

以上の FGFR の継続的な発現結果から、歯冠～歯根象牙質形成過程において、FGF は FGFR を介して、象牙芽細胞を制御していることは確かであろう。また、FGF18 の発現が歯根形成期以降で顕著になることは、裏を返せば歯冠形成期の異なるタイプの FGF の関与を想起させ、言い換えれば、歯冠と歯根象牙質形成においては異なる FGF による制御システムが存在することを示唆している。

さて、歯冠と歯根の象牙質の差について考えてみれば、石灰化に関わる、カルシウム、リン、マグネシウム(4) や、非コラーゲン性象牙質タンパク質の局在量の差(5) がこれまでに報告されている。また歯冠と歯根象牙質の差以外にも、一次象牙質、二次象牙質、修復象牙質等、異なる象牙質の性状を呈することも周知の事実である。我々は、このような差異を生み出す一端を担っているのが、上述した FGF-FGFR シグナリングによるものではないかと考え、歯の再生も念頭にいれ、象牙質形成制御の研究を鋭意進めている。

参考文献

1. Armelin HA. Proc Nat Acad Sci USA 70: 2702-270, 1973.
2. Ohbayashi N, et al. Genes Dev 16: 870-879, 2002.
3. Baba O, et al. Odontology (in press, Epub Ahead of Print) .
4. Inoue T, et al. Dent Mater J 28: 295-300, 2009.
5. Baba O, et al. Matrix Biol 23, 371-379, 2004.



Baba O, et al., Odontology (in press) より改編

薬学部研究紹介

尋常性乾癬における細胞外アデノシン三リン酸の機能解析

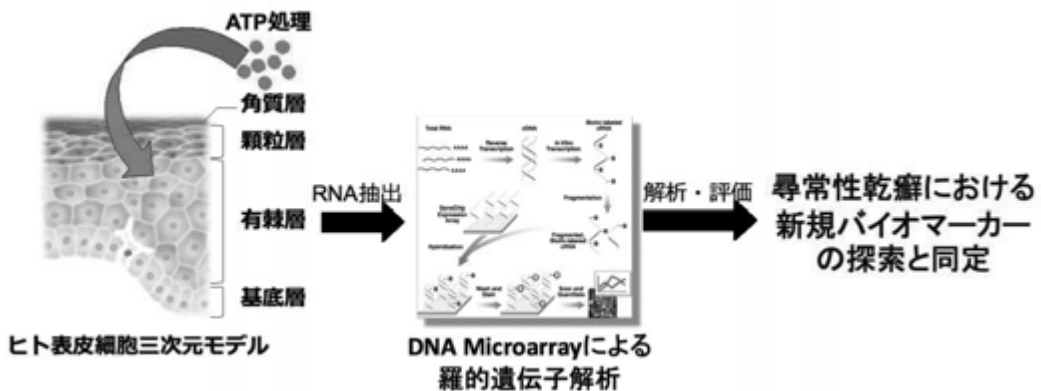
医療薬学分野 助教 大原宏司

尋常性乾癬は痒みを伴う赤疹が全身に現れる表皮増殖異常が特徴であり、それが「Negative Body Image」をもたらし、罹患者のQOLを著しく低下させる慢性炎症性皮膚疾患である。

近年、表皮細胞に物理的的刺激や有害物質などによる刺激が加わると、アデノシン三リン酸（ATP）が細胞外に放出されることが報告されている。私は、痒みによる皮膚の搔破によって放出したATPが乾癬の発症・悪化に関与していると予測し、これまでにATPがヒト表皮角化細胞において、乾癬の発症に密接な役割を担うIL-6をはじめ、IL-20、CXCL1、2、3などの免疫応答因子を誘導することを明らかにしてきた。

しかしながら、これまでの研究は表皮を構成する4層のうちの第1層（基底層）のみをターゲットとした結果であり、その約80%以上を占める第2層（有棘層）、第3層（顆粒層）における細胞外ATPの機能は不明のままである。

そこで本研究では、より生体皮膚を反映したヒト表皮角化細胞三次元モデルを用い、細胞外ATPによる新規バイオマーカーの探索・同定から尋常性乾癬の発症・悪化メカニズムの解明を試みている。なお、本研究は本学若手奨励研究に採択され、現在も目的を達成するために研究に取り組んでいる。



国際口腔外科専門医 (FIBCSOMS) 取得報告

歯学部 口腔外科学講座 濱田智弘

現在多くの国々に口腔外科専門医制度がありますが、そのレベルは様々です。そこで世界共通の専門医制度を作るべきという考えから、国際口腔顎顔面外科学会 (IAOMS) が中心となり認定機構IBCSOMSが発足しました（本部：シカゴ）。そして、なんと初の認定試験が日本で行われることとなり、幸運にも受験することが出来ました。今後、オーストラリア、ブラジル、南アフリカと世界各地で認定試験が予定されています。

手術実績等の書類審査、身辺調査、4時間のCBT、45分×2回の口頭試問（もちろん全て英語）と大変でしたが、合格してFIBCSOMSの称号を得ました。これによりTomohiro Hamada DDS, PhD, FIBSCOMSと名乗ることができます。また今年10月にはメルボルンで開催される国際学会 (ICOMS) においてFIBCSOMS取得者のセレモニーが行われる予定で、非常に楽しみにしております。



スポーツ
学友会



バスケットボール部 北日本デンタル大会で優勝!!

バスケットボール部は、5月3日(日)～5日(火)に岩手県矢巾町ならびに紫波町で行われた北日本デンタル大会に、薬学部部員を含むメンバーで出場し、6チーム総当たり戦で全勝優勝しました。現在は8月6日(木)に本校主管で会津若松にて開幕する歯学体大会に向け練習中です。応援よろしくお願ひ致します。新入部員も募集中です。

北海道大戦	88-38	東北大戦	92-45	新潟大戦	92-47
岩手医科大戦	67-54	日歯大新潟戦	63-56		



学長杯球技大会

5月23日(土)、学友会主催による第21回奥羽大学学長杯球技大会が本学体育館で開催された。今年度の種目はバスケットボールとバレーボールの2種目。両種目とも白熱した試合が行われた。例年より参加した団体・学生が多く、非常に活気にあふれた大会となった。

学部や学年の垣根を越えてコミュニケーションが取れ、怪我も無く、良い雰囲気の中で大会を終了することができた。

奥羽大 now

SL 郡山を走る

懐かしのSL「D51」(SL福が満開ふくしま号)が奥羽大学前の磐越西線を走った。大型観光企画「ふくしまデスティネーションキャンペーン」に合わせJR東日本が企画し、4月18日(土)・19日(日)の両日、郡山-会津若松間を1日1往復した。

時あたかも桜が満開。汽笛を鳴らし、大きな煙を吐く雄姿には多くの人が楽しんで見入っていた。線路沿いには軒並にファンがつめかけ、カメラのシャッターを切っていた。奥羽大学前でも多くの人が手を振り、病院建物の中から写真を撮る人もいた。



キャンパスの森

「ハナカツミ」、「ヤマザクラ」、「カッコウ」。これらに共通しているものは何でしょうか。知っている人はかなりの郡山通だろう。市民の公募によって選ばれた郡山の花と木と鳥だそう。昭和49年に制定されたと郡山市の広報誌に記されている。

そんな思わせぶりを書きたくなるような5月中旬、奥羽大学のキャンパスの森からカッコウ、ウグイス、ホトギスの声が聞えてくる。早春にはフキノトウが顔を出し、密集したスミレが小さな花を咲かせていた。人の通らない薬学実習棟裏の松林の中だから、見た人は少ないだろう。

7種類あるという桜の季節が過ぎると、春の祭典はゲンと新たなステージを迎える。キャンパスの森の中を流れる疏水は日に日に水を増し、ツツジが新たに顔を出す。駐車場でタヌキを見たという人も。おやっ、松の大木が数本伐採されてある。切り屑のにおいがする。切り口を間近に見るのは珍しい。周囲をよく見ると数十年前の古株が6、70本はある。環境保全のためだろう。

「卯の花の匂う垣根に、ホトギス早も来鳴きて、忍び音もらす夏は来ぬ」。どこかから聞えてくるような初夏のにおい。キャンパスの森は、今日も少しも休むことなく動いている。

平成27年度進学相談会日程

【前期】

月日	曜日	時間	開催地	会場
4月22日	水	14:30～18:00	仙台市	仙台サンプラザホール
5月13日	水	15:00～18:00	盛岡市	メトロポリタン盛岡
5月14日	木	15:00～18:00	福島市	福島ビューホテル
5月15日	金	15:00～18:00	郡山市	ビッグパレットふくしま
5月18日	月	15:00～18:00	秋田市	アルヴェ
5月26日	火	15:00～18:00	福島市	MAXふくしまAOZ
5月29日	金	15:00～18:00	郡山市	ホテルハマツ
6月2日	火	14:00～18:00	水戸市	水戸プラザホテル
6月4日	木	15:30～18:00	さいたま市	大宮ソニックシティ
6月5日	金	15:00～18:30	高崎市	エテルナ高崎
6月8日	月	15:30～18:30	名古屋市	ウインク愛知
6月10日	水	15:00～18:30	宇都宮市	マロニエプラザ
6月11日	木	15:00～18:30	長野市	ビッグハット
6月16日	火	13:30～18:00	静岡市	ツインメッセ静岡
6月17日	水	14:00～18:00	広島市	広島グリーンアリーナ
6月20日	土	11:00～17:30	大阪市	インテックス大阪
6月30日	火	15:00～18:00	仙台市	仙台サンプラザホール
7月8日	水	10:00～18:30	新潟市	新潟市産業振興センター
7月11日	土	11:00～17:30	東京都文京区	東京ビッグサイト
7月14日	火	10:30～16:30	大阪市	インテックス大阪
7月20日	月	11:00～17:00	東京都豊島区	池袋サンシャインシティ
7月26日	日	11:00～16:00	横浜市	パシフィコ横浜

【後期】

月日	曜日	時間	開催地	会場
9月1日	火	15:30～18:30	秋田市	アルヴェ
9月7日	月	15:30～18:30	仙台市	ホテルメトロポリタン仙台
9月8日	火	15:30～18:30	静岡市	ホテルアソシア静岡
9月8日	火	14:30～18:00	水戸市	水戸プラザホテル
9月9日	水	14:30～18:00	宇都宮市	マロニエプラザ
9月11日	金	15:00～18:30	松本市	ホテルブエナビスタ
9月11日	金	15:30～18:30	山形市	山形国際ホテル
9月14日	月	15:30～18:30	福島市	MAXふくしまAOZ
9月15日	火	15:30～18:30	郡山市	郡山ビューホテルアネックス
9月16日	水	15:00～18:00	新潟市	ANAクラウンプラザ新潟
9月17日	水	15:30～18:30	甲府市	ベルクラシック甲府
9月23日	水	13:00～17:00	名古屋市	ウインクあいち
9月未定		15:30～18:00	大阪市	天王寺ミオ
10月3日	土	11:00～17:30	仙台市	夢メッセみやぎ
10月9日	金	15:00～18:30	横浜市	横浜新都市ビル（そごう）
10月10日	土	13:00～16:30	東京都新宿区	新宿NSビル
11月16日	月	15:00～18:00	仙台市	アエル
11月18日	水	15:00～18:00	郡山市	郡山ビューホテルアネックス

同窓会だより

岩崎 正喜(群馬県支部長 歯学部5期生)

この度、群馬県支部長に任命されました、岩崎です。温厚な加藤先生、理路整然とした斉藤先生、独自の世界を確立した天田先生の後を引き継ぐことになりました。

私事ですが、独身になってから8年になり、県人会に顔を出したらひょんなことから引き込まれ、就任いたしました。住まいは、北関東自動車道太田藪塚インターから3分の所にあります。お立ち寄りください。同窓の先生方は、県歯科医師会の学術や保険担当理事、他多数ご活躍され頼もしい限りです。また、今春鎌田先生が太田市に開業され、要となる人が出来ました。

支部の活動は、6月に総会・講演会・懇親会、秋には保険勉強会を予定しております。オープンな会ですので、他大学の先生も出席していただいております。また、東歯・松本との交流会も行っていて和気あいあいと酒を酌み交わし、互いに支障のないよう連絡を取り合っております。

これから群馬県支部を担当させていただきます。宜しくご指導下さいますようお願いいたします。

同窓生のひろば



有近 一幸(歯学部22期生)

皆様こんにちは。22期の有近一幸と申します。このような場で書かせて頂くのは不得手なのですが、せっかくのお話しを頂戴致しましたので。

初めに神奈川県支部の紹介をしたいと思います。現在、神奈川県支部では鹿郷満保会長の下、様々な活動しております。皆様もご存じの通り神奈川の保険ルールは神奈川ルールとも呼ばれ、他県に先駆けて少々厳しいところがあります。そんな中、神奈川県支部には専務の加藤先生や佐藤忍先生等、保険に大変詳しい先生方が沢山いらっしゃいますので、最近の動向など、詳しく教えて頂けます。全体の活動としては、総会、理事会、講演会、飲み会などイベントが盛り沢山です。もし神奈川県でご開業される先生は、是非神奈川県支部の方にご一報下さい。後輩思いの良い先生ばかりですので、きっと楽しんで頂けるはずですよ。

では私個人の話を少しだけさせていただきます。

早いもので大学を卒業してから15年が経ちました。在学中は勉強が大嫌いで、友人に出席カードを譲ってもらったり、代返を頼んでみたり、歯冠彫刻等も掘ってもらったり、テスト前は一夜づけが当たり前前で決まって特別再試まで。そんな私が卒業をし、国家試験に合格したのもラッキーとしか言いようがありません。卒後は歯周病学講座に在籍させて頂きましたが、そこでも実力なんてまるででないのに出来るかと勘違いして恰好ばかり。ただそこで学内やバイト先で心ある先輩方や先生達に恵まれ、少しずつ勉強をしていったような気がします。今では仕事もとても楽しくなり、心から信頼し合える仲間や頼れる先輩、心優しい後輩たちにもめぐりあうことが出来ました。まだまだ未熟で失敗ばかりして、周りの友人や先生方にご迷惑をお掛けし後悔することも多々ありますが、これからは患者さんのために地域医療を頑張っていきたいと思っております。

小山田香菜(旧姓 中村)(薬学部1期生)

皆様、こんにちは。薬学部1期生の小山田香菜(旧姓中村)です。卒業してから今の会社に入社して7年が経とうとしています。働いていると1日も1年もあつという間に過ぎてしまいます。

いま私が勤めている薬局は長野県中心地域を中心に19店舗を展開し、全店舗がドラッグストアの規模を持ちながら処方箋調剤薬局としても稼働する地域密着型の薬局です。基本的にシフト制でその日によって店舗も、一緒に働くスタッフも違うので、毎日が新鮮です。

私の母も薬剤師として働いているので、時々一緒に働くこともあります。職場は和気あいあいとした雰囲気、シフト制ということもあり、休みを合わせて同僚と一緒に出かけられることもあります。また、新薬が次々に開発されるなか、日時業務だけだと最新の情報がわからなくなってしまうので、医薬品メーカーの勉強会などには積極的に参加するようにしています。つい最近では同期の子と休みの日に講座に通い、「糖尿病療養指導士」の資格を取得しました。糖尿病の患者さんと接したときにもっと具体的な服薬指導がしたい、糖尿病に関する知識を深めたいというのが通うきっかけでした。

しかしながら、ここ数年私の会社は深刻な薬剤師不足に悩まされています。県内に薬科大がないことも原因の一つと言えますが、とにかく薬剤師が足

りません。一方で処方箋枚数は年々増加しています。ですから薬剤師ひとりひとりにかかる負担が増していることは、いうまでもありません。命にかかわる重大な仕事でありながら、本来よりも少人数でいかに早くかつ正確にこなせるか、毎日が勝負です。

この就職難な時代に、この資格が今どれほど貴重で、必要とされているか身をもって痛感しています。そんなとき、今でも国家試験合格のために苦しんだ日々を昨日のこのように思い出します。あのときの頑張りがなければ今の私はありません。私自身、一生のうちで一番勉強したと胸を張って言えます。一時は机にむかうだけで、変な焦りと不安に駆られ、動悸や吐き気がした時期もありました。しかし、どんな結果になってもこれだけやったのだから後悔はない、と思えるまでやり遂げ、一緒に頑張る仲間がいたおかげでなんとか乗り越えることができました。私にとってあの瞬間が、生きていくうえで自信となっています。支えてくださった先生方、友人、家族に心から感謝しています。

新任教授紹介



歯学部
口腔病態解析制御学講座
歯科薬理学分野
教授 鈴木 恵子

平成27年4月1日付で、本学歯学部口腔病態解析制御学講座教授を拝命いたし、歯科薬理学分野担当として着任致しました。昨年まで所属していました昭和大学では、門から1分足らずの石畳の庭を通過しての通勤でしたので、奥羽大学の美しくて広大なキャンパスにとても感動いたしました。

歯科薬理学は本年度から2年後期と3年前期で習得するカリキュラムに変更され、現3年生はその過渡期にあたります。きめ細かな指導を心掛けて奮闘しております。さらに薬物治療の幅が急速な広がりをみせている現在の状況を視野にいれ、豊富な知識と柔軟かつ確かな判断力を身につけた歯科医師を目指して成長してもらえよう教育に励む所存でございます。また、研究面では今まで行ってきた骨代謝に関する研究を継続したいと考えております。今後共ご指導賜りますようお願い申し上げます。



歯学部
放射線診断学講座
歯科放射線学分野
教授 原田 卓哉

4月1日付で教授職を拝命しました。

私は東京歯科大学を卒業後、直ちに同校大学院に入学し歯科放射線学を専攻しました。学位取得後助手として任用され講師で退職するまで13年余り勤務しました。郡山での生活は7年目を迎えました。

この間東日本大震災と福島第1原発事故を経験し、放射線が厳しく見られるという事態に直面しました。にもかかわらず「放射線という悪いもの」でも利用し続けなければならないのが現状です。一方物理の苦手な本学学生に「物理の塊」である歯科放射線学を理解させるのは一見すると困難なことの様に思われます。この状況を鑑み、「放射線を正しく怖がる方策」と「学生に歯科放射線学を身につけさせる方法」について着実に取り組んでいきます。皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



歯学部
生体材料学講座
生体材料学分野
教授 岡田 英俊

平成27年4月1日付で歯学部生体材料学講座生体材料

学分野教授を拝命致しました。

私は平成元年、奥羽大学歯学部に入學、平成7年に卒業した後、当時の歯科理工学講座に助手として採用されました。そして現在に至る20年間、生体材料、歯科材料に関わる教育、研究に従事してまいりました。

現在、学生にとって国家試験合格への道のりは非常に厳しくなっています。合格するには全国的に正答率の高い問題を落とさないこと、そして不得科目を作らないことが重要となります。生体材料・歯科材料学の範囲で高点数が得られ、得意とする学生を多くすることが私の任務だと思っております。また、研究に関しては歯科臨床を見据えた課題を今後も行っていきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



歯学部
生体材料学講座
物理学分野
教授 菊地 尚志
郡山の暮らしが自分の人生のなかで一番長くなった。

父は仕事で転勤が多く、家族は一緒に引越しを重ねた。私の生まれたのは仙台だそうだ。記憶はない。物どころがついて、会津若松、仙台、新潟、名古屋、東京とはほぼ3年ごとに移った記憶が残っている。大学に入り仙台のひとり暮らしが10年ほどになった時には、さすがに「長くなったなあ」と感じた。ただ卒業後は京都、リバサイド(合衆国加州)に3年ずつと、また引越しの暮らしに戻ってしまった。

そして奥羽大学に職を得たのが20年前になる。もともと福島には縁があった。父の生家は棚倉だ。母の実家は本宮だ。大学時代、私の本籍は棚倉だった。行ったことはなかったが、「大字」と「字」とが連なって田舎風に記されている住所に、「どんなところなんだろう」と郷愁を伴い想像することが、たびたびあった。去年の夏、その住所を訪ねる機会があった。お城のすぐ南側の一角を住所は示していた。今は亡くなった父の子供の頃の姿に会えないかなあなどと、およそ物理屋らしからぬ期待を持ってそこに歩いて近づいて行った。住所の一角に足を置いて目をつぶったが、タイムワープは起きなかった。

この2年国試の合格率が著しく低迷していることに、奥羽大学の、福島の人間として心を痛めている。難しくなった試験に挑戦しようとしている学生たちに、応援と合格祈願の気持ちが強い。彼らの合格に向け創意工夫を持って教え責任を果たす意思を、教授を拝命し、ますます強くしております。

人事

〈指定職選任〉

衛藤 雅昭	薬学部長	4月1日付
安藤 勝	図書館長	〃
押尾 茂	薬学部学生部長	〃

〈昇任〉

	新	旧	
原田 卓哉	教授 放射線診断学	准教授 放射線診断学	4月1日付
岡田 英俊	教授 生体材料学	准教授 生体材料学	〃
菊地 尚志	教授 生体材料学	准教授 生体材料学	〃

鈴木 史彦	准教授 口腔外科学	講師 口腔外科学	〃
安部 仁晴	准教授 生体構造学	助教 生体構造学	〃
鈴木 礼子	准教授 口腔病態解析制御学	助教 口腔病態解析制御学	〃
前田 豊信	准教授 口腔機能分子生物学	助教 口腔機能分子生物学	〃
岡本 望	助教 歯科補綴学	助教 歯科補綴学	〃
山野 辺晋也	助教 成長発育歯学	助教 成長発育歯学	〃
渡辺 敦	助教 成長発育歯学	助教 成長発育歯学	〃
結城 昌子	助教 口腔衛生学	助教 口腔衛生学	〃
黒田 栄子	助教 成長発育歯学	講師 臨床	〃

〈任用〉

鈴木 恵子	教授	口腔病態解析制御学	4月1日付
山田 嘉重	准教授	歯科保存学	〃
高橋 昌宏	講師	歯科保存学	〃
小林 智代	助教	口腔病態解析制御学	〃
鈴木 厚子	助教	口腔機能分子生物学	〃
御代田 駿	助手	口腔外科学	〃
伊藤 隼	助手	歯科補綴学	〃
吉田 健司	助手	口腔外科学	〃
木村 裕一	教授	歯科保存学	〃
加藤 靖正	教授	口腔機能分子生物学	〃
佐藤 穂子	講師	歯科保存学	〃
板橋 立雄	講師	成長発育歯学	〃
竜 徳久	講師	成長発育歯学	〃
鈴木 敏城	講師	心理学	〃
長崎 慶太	助教	歯科保存学	〃
伊藤 美歩	講師	臨床	〃
三科 祐美子	講師	臨床	〃
昆野 加奈子	助手	臨床	〃
茂呂 有司	助手	臨床	〃
齋藤 弘毅	助手	臨床	〃
鳥居 詳司	助手	臨床	〃
山崎 厚作	助手	臨床	〃
関野 貴大	助手	臨床	〃
野中 康平	助手	臨床	〃
井ノ上 靖尊	助手	臨床	〃
兼島 靖彦	助手	臨床	〃
濱上 隼一	助手	臨床	〃
船川 竜生	助手	臨床	〃
飯島 康基	助手	臨床	〃
鈴木 佑太	助手	臨床	〃
高橋 文太郎	助手	臨床	〃
玉木 究	助手	臨床	〃
安部 将太	助手	臨床	〃
佐藤 健太	助手	臨床	〃
佐藤 麻里恵	助手	臨床	〃
北條 健太郎	助手	臨床	〃
與座 崇史	助手	臨床	〃
鈴木 康裕	准教授	薬学部	〃
石山 玄明	准教授	薬学部	〃
渡邊 哲也	講師	薬学部	〃
横田 ひばり	助教	薬学部	〃
奥山 ひばり	助手	薬学部	〃

<再任>			
齊藤 博	准教授	生体構造学	4月1日付
秋山 哲夫	准教授	生体材料学	〃
衛藤 雅昭	教授	薬学部	〃

<昇格>			
	新	旧	
小林 勝彦	課長	係長	4月1日付
	総務部長	総務部長	
長谷川 康明	歯学部学事部長	歯学部学事部長	〃
	係長	事務職員	
吉田 貴弘	歯学部学事部長	歯学部学事部長	〃
	係長	主任	
佐藤 夏美	図書館事務部長	図書館事務部長	〃
	主任	事務職員	
萩原 貴史	病院事務部長	病院事務部長	〃
	主任	事務職員	
矢吹 直子	病院事務部長	病院事務部長	〃
	歯科衛生士主任	歯科衛生士	
興津 明子	病院医療部長	病院医療部長	〃
	歯科衛生士主任	歯科衛生士	
加藤 由起子	病院医療部長	病院医療部長	〃
	歯科衛生士主任	歯科衛生士	
紺野 真由美	病院医療部長	病院医療部長	〃

<採用>			
鈴木 瑞樹	事務職員	財務部	4月1日付
原田 直明	事務職員	薬学部学事部長	〃
五十嵐 美紗	歯科衛生士	病院医療部	〃
佐藤 亜衣子	歯科衛生士	病院医療部	〃
馬場 美波	歯科衛生士	病院医療部	〃

<再雇用>			
田卷 勝幸	警備職員	総務部	4月1日付
伊東 敏夫	技術職員	総務部	〃
遠藤 進	事務職員	病院事務部	〃

<異動>			
	新	旧	
佐藤 安宏	課長補佐	課長	4月1日付
	総務部長	総務部長	

<退職>			
星 幸宏	課長	企画・広報課	4月10日付
相澤 徳久	講師	成長発育歯学	4月26日付

<兼務>			
設楽 民雄	企画・広報課長	歯学部学事部長	4月10日付

文学部関連の記事募集のお知らせ

文学部卒業生の皆様、お元気でしょうか。2007年3月文学部廃止から早くも8年が経ちました。さまざまな思い出が去来することかと思えます。皆様からの近況をお寄せください。「同窓生のひろば」(600字程度)ほか文学部関連の情報を歓迎します。皆様からの寄稿を心よりお待ちしております。

【送信先】

奥羽大学報編集担当
toshokanchou@jim.ohu-u.ac.jp

奥羽大学報146号(通算No.271)平成27年6月1日発行
発行 奥羽大学
学報編集委員会
委員長 赤川 安正

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372
ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>
メールアドレス info@ohu-u.ac.jp

※「奥羽大学報」送付先変更の方は、FAXまたはメールでご一報をお願いします。

オープンキャンパス 2015 summer

 *Open Campus* 日程 

7/18 土 10:00～13:00	10:00	学部紹介・入試説明
	10:30	ミニ講義
	11:10	キャンパス見学・実習体験
	12:10	個別相談・学食体験
7/25 土 10:00～13:00	10:00	学部紹介・入試説明
	10:30	ミニ講義
	11:10	キャンパス見学・実習体験
	12:10	個別相談・学食体験
8/6 木 13:00～16:00	13:00	学部紹介・入試説明
	13:30	ミニ講義
	14:10	キャンパス見学・実習体験
	15:10	個別相談

Innovative Future

奥羽大学



オープンキャンパス 2015 summer

Open Campus

7/18 土 . 7/25 土 . 8/6 木

参加は予約が必要です。保護者の方も参加いただけます。

www.ohu-u.ac.jp